

陸上競技（短距離）プログラム報告 2016年2月13日（土）中村 泰雄

昨日、ネットで見た天気予報では、プログラム会場の健康福祉村の在る越谷市北後谷の午前九時の天気は、西北西の風 2m/s 曇りで、気温は10℃と有りました。この予報が見事に当たり、プログラム開始時に福祉村に在るアメダス越谷の記録は、曇（日照時間0分）北西の風 0.7m/s 気温は9.6℃でした。絶好とは言えませんが、マアマアと云ったところでしょうか。

三月に予定されている SONS 駅伝まで、プログラムは今日を入れてあと二回、大事な時期です。専門種目の別なく、全員で駅伝の練習に集中しました。

その前にウォーキング中の植物観賞ですが、今回はパンジーを見てもらいました。名前の類似性からチンパンジーと並べて画像に描かれる事も有りますが、パンジーと言う名前はフランス語のパンセ（＝思想）から来ています。つまりチンパンジーとは無関係です。念の為（笑い）

配布プリントは何時もの様にB5の用紙を縦に使い、上辺中央に『パンジー』と表示し、その下にパンジーの花の画像を貼り付け、その下から始まる記事にはパンジーと云う名前の由来、寒さに強い植物で、雪に埋まっても損傷しないこと、花期は十月～五月で、寒冷地では多年草ですが、日本の多くの地域では夏の暑さで枯れてしまうことなどを書きました。

本部棟でのミーティングを終え、大芝生広場の西端で磯野コーチ指導の準備運動、それに続く動的ストレッチの指導の後に、2000mのウォーキングがスタートします。私はこのスタートに先行してパンジーが咲いている現場に向かいました。現場はジョギングコースの200m表示のイン側、ウォーキングのスタートポイントから300?ほどの所です。

現場に着いて待つこと三分。集団が到着しました。早速集団をパンジーの花の前に導き、プリントの内容を補足しました。特に注意したのは『パンジーの花が人の顔に似ている』という点です。花を選んで、注意深く見ないとそうは見えないからです。幸いなことにお母さんの一人が納得の声を上げてくれました。チャンス到来。気を逃がすことなく再スタートしてもらいました。

ウォーキングの後は2000m、1000m、400mを各一本走り、最後に50mを走って、十一時五十分、磯野コーチ指導の整理運動の後、S.Sの君リードでSON埼玉のエールを叫んで、立春後初の川口陸上プログラムを無事に終了しました。